

賃貸経営の二極化はさらに進む

日本不動産経営協会(JRMA)



▲1月12日に行われた新年パーティー

「知恵」と「実行力」で難局を乗り切ろう

いよいよ平成の時代も20年代に入ってきましたが、不動産賃貸はますます激動の時代に入ってきております。ファンドも昨年の金融商品取引法施行により、様変わりをはじめますが、こうした流れは、私たち住居系賃貸を営むものにとっても無縁とは言えません。

今年の不動産業界は建築不況と、金融庁による官僚中央集権によるダブルの締め付け

で、先行きがよく読めませんが、民間の知恵の出し所でしょうか。個々に見れば、中小のファンドの解消による物件の投げ売りを拾うのもよし、じっくりと腰を落ち着けてよい物件を探すのもよし。「ピンチはチャンス」という言葉もあります。が、まさにこの言葉が当てはまるような年かもしれません。

個々の経営を見れば、賃貸経営の二極化がますます進むでしょうし、家賃の値下がりもきついものがあるかもしれません。救いは、東京は一極集中で人口が増えている、というところでしょうか。このあたりを突破口として、ジャルマの仲間は「良い知恵」と「アイデア」と「実行力」で満室経営を目指して頑張りましょう。

会員の皆さんのますますのご協力をよろしくお願ひ致します。今年も頑張って満室を続行させましょう(目黒神谷会長)。

日本不動産経営協会 JRMA

「JRMA」ホームページ